

衛研第1-30号
平成27年10月21日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 27 年 第 42 週 (平成 27 年 10 月 12 日～平成 27 年 10 月 18 日)

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類(結核を除く)感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 1 人の届出があった。四類感染症は、デング熱 1 人、レジオネラ症 3 人の届出があった。レジオネラ症の届出は第 35 週(8 月 24 日～30 日)以降続いている。五類感染症は、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 2 人、梅毒 3 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**RSウイルス感染症**(1.02→0.95)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まり多い状況が続いている。保健所別では、川口(1.13→1.88)、本庄(0.25→1.00)保健所管内で大きく増加し、幸手(1.89)、草加(1.36)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以下で全体の 71.5% を占めている。**流行性耳下腺炎**(0.73→0.88)の定点当たり報告数は、前週より僅かに増加し、前年までの同時期よりやや多い状況にある。保健所別では、幸手(1.22→4.22)、草加(0.73→1.73)保健所管内で大きく増加し、春日部(1.67)、東松山(1.50)、坂戸(1.50)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳未満を除く全階級で報告があり、5 歳が最も多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.16→1.92)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まった。保健所別では、川越市(4.63)、川口(3.50)、熊谷(3.22)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、6 ヶ月未満を除く階級で報告があり、4 歳～8 歳で全体の 64.7% を占めている。**水痘**(0.26→0.46)の定点当たり報告数は、前週より僅かに増加した。保健所別では、熊谷(0.89)、川口(0.69)保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 29 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 1 人、**マイコプラズマ肺炎** 7 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 人(病型 患者、血清型 0157)
四類感染症	デング熱	1 人(推定感染地域 国外)
	レジオネラ症	3 人(病型 肺炎型 3 人)
五類感染症	後天性免疫不全症候群	2 人(病型 AIDS 1 人、その他 1 人)
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
	梅毒	3 人(病型 早期顕症梅毒 I 期 2 人、II 期 1 人)

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

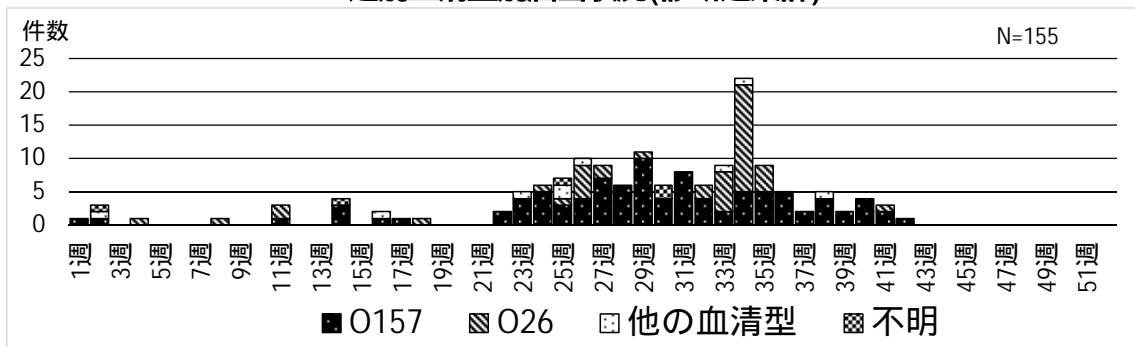
2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

注目すべき疾患

- 腸管出血性大腸菌感染症 -

腸管出血性大腸菌感染症は、今週 0157 1 人の届出（診断週集計 1 人）があった。9 月以降、1 週当たりの届出数が 5 人を超える週は無いが、いまだ途切れない。年当初からの累計は 155 人となり、血清型別では 0157 が 97 人(62.6%)、026 が 44 人(28.4%)と多く、全体の 91.0%を占めている。

週別血清型別届出状況(診断週集計)



今週届出された症例は、年齢階級別は 0~4 歳で、病型は患者、症状は血便、急性腎不全、HUS であった。年当初からの累計では、最も多いのは 5~9 歳の 25 人で、0~4 歳の 14 人を合わせると 10 歳未満が全体の 25.2%を占めている。病型別では患者 114 人、無症状病原体保有者 41 人で、患者が 73.5%を占めている。

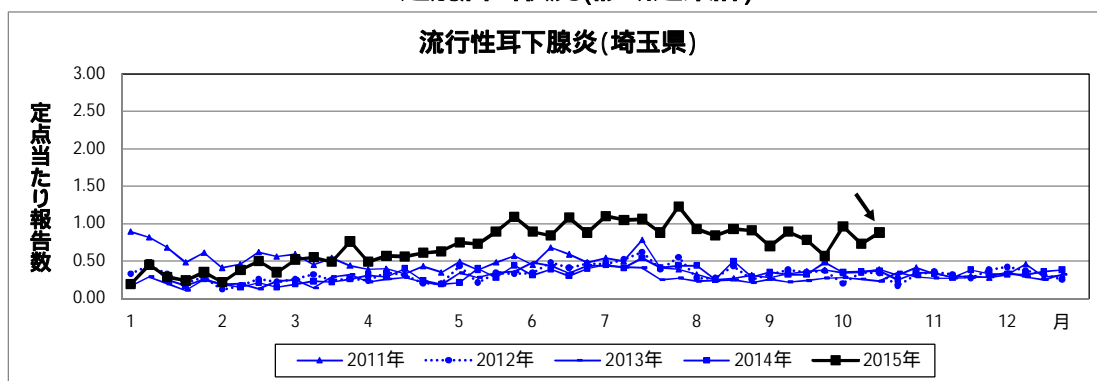
年齢階級別病型別報告数(2015 年第 1 週~第 42 週 診断週)

年齢階級	0~4	5~9	10~14	15~19	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
患者	12	18	14	5	13	13	8	6	9	16
無症状病原体保有者	2	7	3	4	8	2	8	3	2	2

- 流行性耳下腺炎 -

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、2 月以降緩やかに増加した。第 21 週(5 月 18 日~24 日)から今週までの 22 週間の定点当たり報告数の平均値は 0.91 で、非流行年であった 2012 年~2014 年に比べやや多い状況にあり、今後の動向に注意が必要である。

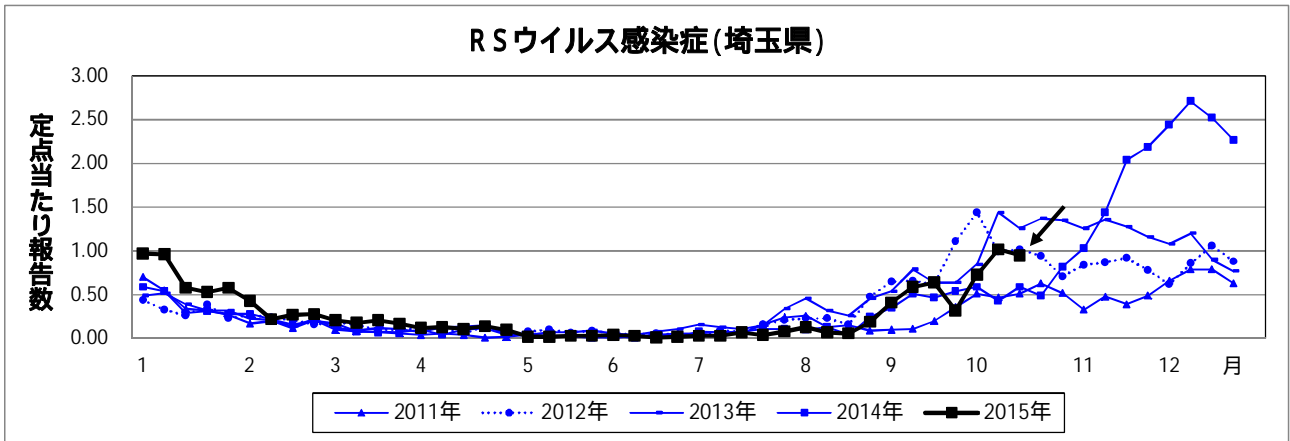
週届出状況(診断週集計)



< 定点把握対象疾患の患者情報 >

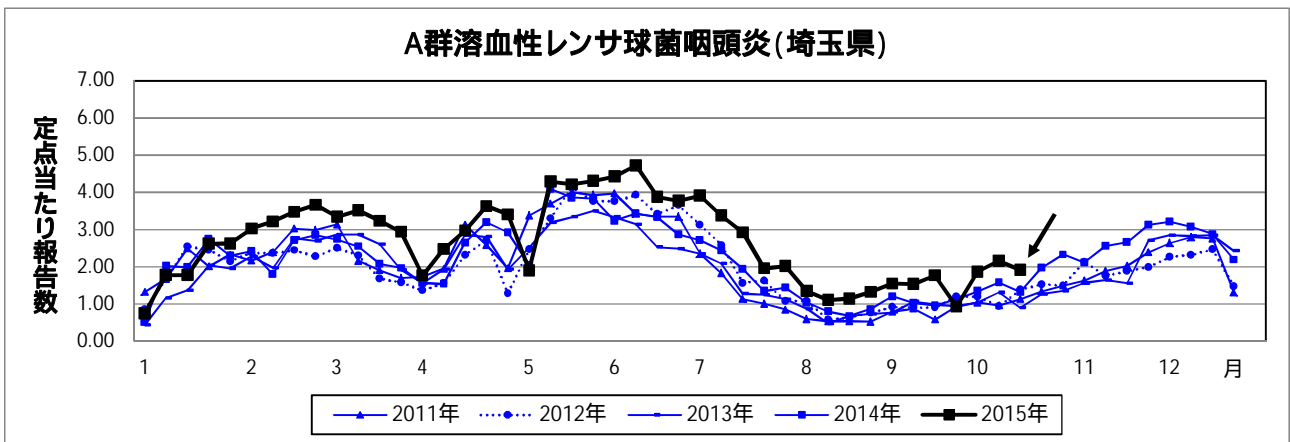
RSウイルス感染症

東松山保健所を除く、県内 15 保健所から報告があった。保健所別では、幸手(1.89)、川口(1.88)、草加(1.36)保健所管内からの報告が多い。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

県内全保健所から報告があった。保健所別では、川越市(4.63)、川口(3.50)、熊谷(3.22)保健所管内からの報告が多い。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第42週)

(2015年10月20日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		5	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	1	155			
四類感染症					
E型肝炎		6	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		14	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	3	73
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	1	12	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
アメーバ赤痢		28	侵襲性肺炎球菌感染症	2	61
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*		7
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		33	先天性風しん症候群		
急性脳炎		20	梅毒	3	78
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		7
クロイツフェルト・ヤコブ病		8	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	26	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症		4	風しん		8
侵襲性インフルエンザ菌感染症		11	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3			

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核患者発生状況(9月分)

9月の報告数は、患者54人、無症状病原体保有者36人、疑似症3人、感染症死亡者の死体1人の計94人で、前月の120人より減少した。患者で最も多い年齢階級は70～79歳であった。

年齢階級別報告数

この情報は、感染症法に基づく届出について集計したものです。

平成27年10月21日

年齢階級 \ 診断類型	患者	無症状 病原体保有者	疑似症	計	
				今月診断分	2015年累計*
0～9歳	0	0	1	1	23
10～19歳	0	0	0	0	23
20～29歳	9	1	0	10	80
30～39歳	2	7	0	9	98
40～49歳	6	4	0	10	110
50～59歳	3	8	0	11	87
60～69歳	9	11	0	20	151
70～79歳	15	5	2	23**	179**
80歳以上	10	0	0	10	210
計	54	36	3	94	961

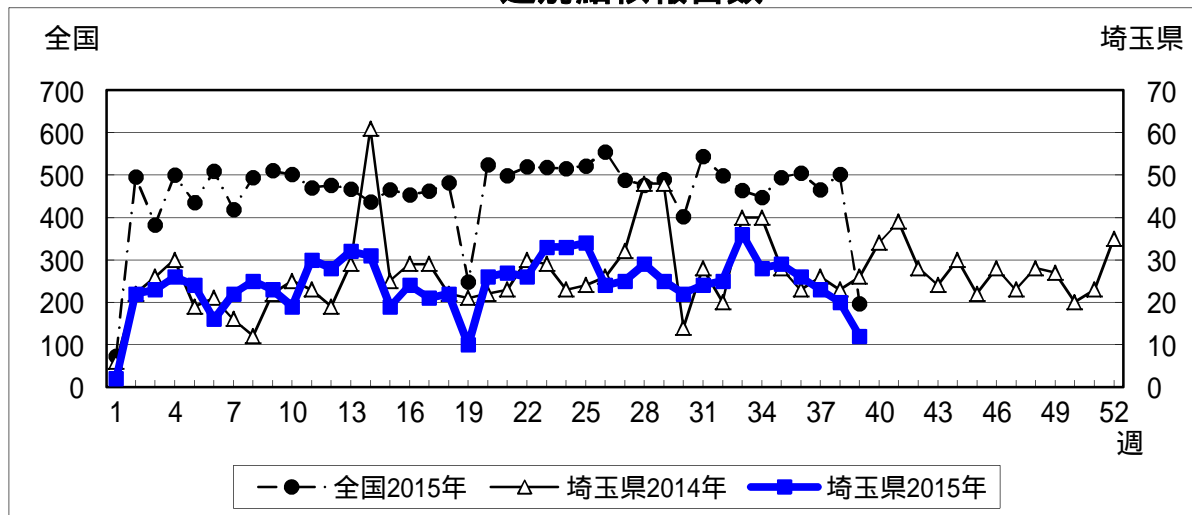
10月 20日

15 時集計

*2015年累計:1月からの累積届出数

**感染症死亡者の死体1件を含む

週別結核報告数



*NESID感染症発生動向調査WISH公開データ

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第42週 平成27年10月12日～平成27年10月18日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	18	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	8	2	-	1	3	1	-	-	-
RSウイルス感染症	151	24	20	64	24	8	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	58	-	2	6	5	6	20	7	4	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	306	-	2	5	7	18	37	40	43	45	33	28	31	3	14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	532	9	36	66	51	51	40	48	37	29	23	20	61	14	47	-	-	-	-	-	-
水痘	73	1	1	6	9	4	12	8	13	9	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	162	1	19	42	21	22	22	9	4	4	3	3	7	-	5	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	70	-	1	1	5	9	10	13	8	6	5	8	2	-	2	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	78	2	17	53	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	16	-	2	2	3	4	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	140	-	-	1	9	12	19	28	18	14	17	6	13	2	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎	29	-	-	2	2	1	-	1	4	1	1	-	1	-	-	10	2	1	1	1	2
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	-	2	1	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 40 週

(9月28日～10月4日)

平成27年10月21日

インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.24)、愛知県(0.09)、滋賀県(0.08)、鹿児島県(0.08)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は5例と前週と同値であり、4県から報告があった。

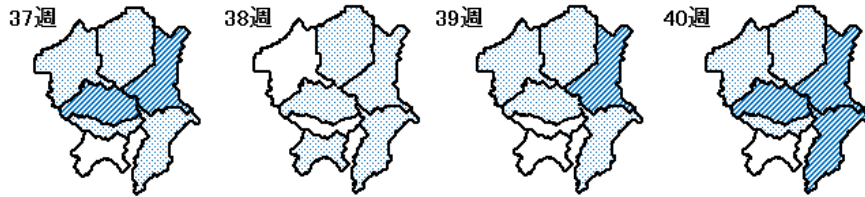
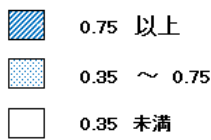
RSウイルス感染症の報告数は2,643例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.71)、福岡県(0.70)、鳥取県(0.58)、宮崎県(0.58)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.42)、静岡県(3.17)、山形県(2.90)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(8.14)、熊本県(6.74)、鹿児島県(6.40)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.81)、鹿児島県(0.49)、大阪府(0.48)である。手足口病の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(6.34)、大分県(5.97)、山形県(4.53)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.86)、佐賀県(1.04)、鹿児島県(1.04)、熊本県(0.98)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.48)、沖縄県(2.32)、石川県(2.17)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.17)、大阪府(1.88)、青森県(1.83)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。5都県から7例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(4例)であった。

<関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、茨城県(1.09)、埼玉県(0.96)、千葉県(0.84)からの報告が多い。

流行性耳下腺炎



平成27年 40週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	212	59	2	1	1	3	13	28	11
	定点当たり	0.04	0.04	0.02	0.01	0.01	0.01	0.06	0.07	0.03
RSウイルス感染症	報告数	2,643	682	24	24	16	119	66	303	130
	定点当たり	0.84	0.72	0.32	0.50	0.27	0.73	0.49	1.17	0.64
咽頭結膜熱	報告数	836	220	11	2	2	59	22	82	42
	定点当たり	0.27	0.23	0.15	0.04	0.03	0.36	0.16	0.32	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,087	1,477	80	63	116	303	238	435	242
	定点当たり	1.61	1.56	1.07	1.31	1.93	1.87	1.76	1.67	1.19
感染性胃腸炎	報告数	9,835	2,856	197	71	173	549	395	909	562
	定点当たり	3.12	3.03	2.63	1.48	2.88	3.39	2.93	3.50	2.75
水痘	報告数	977	312	15	5	19	56	46	88	83
	定点当たり	0.31	0.33	0.20	0.10	0.32	0.35	0.34	0.34	0.41
手足口病	報告数	7,103	2,443	172	84	104	379	463	618	623
	定点当たり	2.25	2.59	2.29	1.75	1.73	2.34	3.43	2.38	3.05
伝染性紅斑	報告数	1,427	427	41	30	25	104	79	96	52
	定点当たり	0.45	0.45	0.55	0.63	0.42	0.64	0.59	0.37	0.25
突発性発しん	報告数	1,632	518	29	23	25	92	79	153	117
	定点当たり	0.52	0.55	0.39	0.48	0.42	0.57	0.59	0.59	0.57
百日咳	報告数	42	8	1	-	-	1	1	4	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	0.02	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1,160	383	23	5	27	68	64	102	94
	定点当たり	0.37	0.41	0.31	0.10	0.45	0.42	0.47	0.39	0.46
流行性耳下腺炎	報告数	1,895	611	82	26	21	155	114	145	68
	定点当たり	0.60	0.65	1.09	0.54	0.35	0.96	0.84	0.56	0.33
急性出血性結膜炎	報告数	8	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	0.06	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	749	250	24	13	26	43	38	46	60
	定点当たり	1.09	1.22	1.41	1.08	1.86	1.05	1.12	1.18	1.25
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	4	-	2	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.05	-	0.29	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	28	6	-	-	-	4	1	-	1
	定点当たり	0.06	0.07	-	-	-	0.40	0.11	-	0.11
マイコプラズマ肺炎	報告数	332	65	2	4	6	4	6	36	7
	定点当たり	0.70	0.80	0.15	0.57	0.75	0.40	0.67	1.44	0.78
クラミジア肺炎 #3	報告数	15	4	-	-	-	-	-	4	-
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	-	-	0.16	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	7	4	-	2	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.05	-	0.29	-	-	-	0.08	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

